

(仮称)飯田駅前プラザ整備支援について

飯田市は、第3期飯田市中心市街地活性化基本計画に位置付けた「旧ピアゴ他駅周辺低・未利用地活用整備事業」として、新たな魅力拠点の創出を促進する中で、国の補助制度（社会資本整備総合交付金）を活用しながら、整備・運営主体となる飯田駅前プラザ株式会社の事業を支援します。

(仮称)飯田駅前プラザ整備事業における財政支援措置について

■ 事業計画の内容

当地区は、本市中心市街地活性化基本計画区域の北西部に位置し、基本計画の区域の中でも、中心市街地の玄関口となる飯田駅前通りの一角にあり、飯田駅や高速バス乗り場等の交通拠点や、広域バス・市民バス等の交通網が集積しています。平成30年9月末には、中心市街地唯一の大型商業施設が閉店。それに伴い商業機能が低下し、来街者も減少するなど、かつての駅前の活力が失われている状況にあります。このため、暮らし・にぎわい再生事業により、民間の空きビルを活用し、公民館機能、賑わい交流機能、商業施設を導入した施設を整備することにより、都市機能の集積の促進を図ります。

- 【補助メニュー】 社会資本整備総合交付金「暮らし・にぎわい再生事業」
- 【事業主体】 飯田駅前プラザ株式会社
- 【面積】 約0.4ha
- 【全体事業費】 約1,075百万円
- 【施工期間】 令和3年度～令和3年度
- 【交付期間】 令和3年度～令和3年度
- 【整備内容】 延べ面積 約12,900㎡
(商業施設、市民の交流・学習活動拠点、多目的ホール、オフィス等)

【補助対象内容ならびに金額の内訳】

(単位：百万円)

活用メニュー	総事業費	飯田市補助額		事業者負担
		うち、国費	うち、市費	
空きビル再生支援 (調査設計計画費、改修工事費、共同施設整備費、 にぎわい交流施設整備費)	1,075	388		687
		194	194	

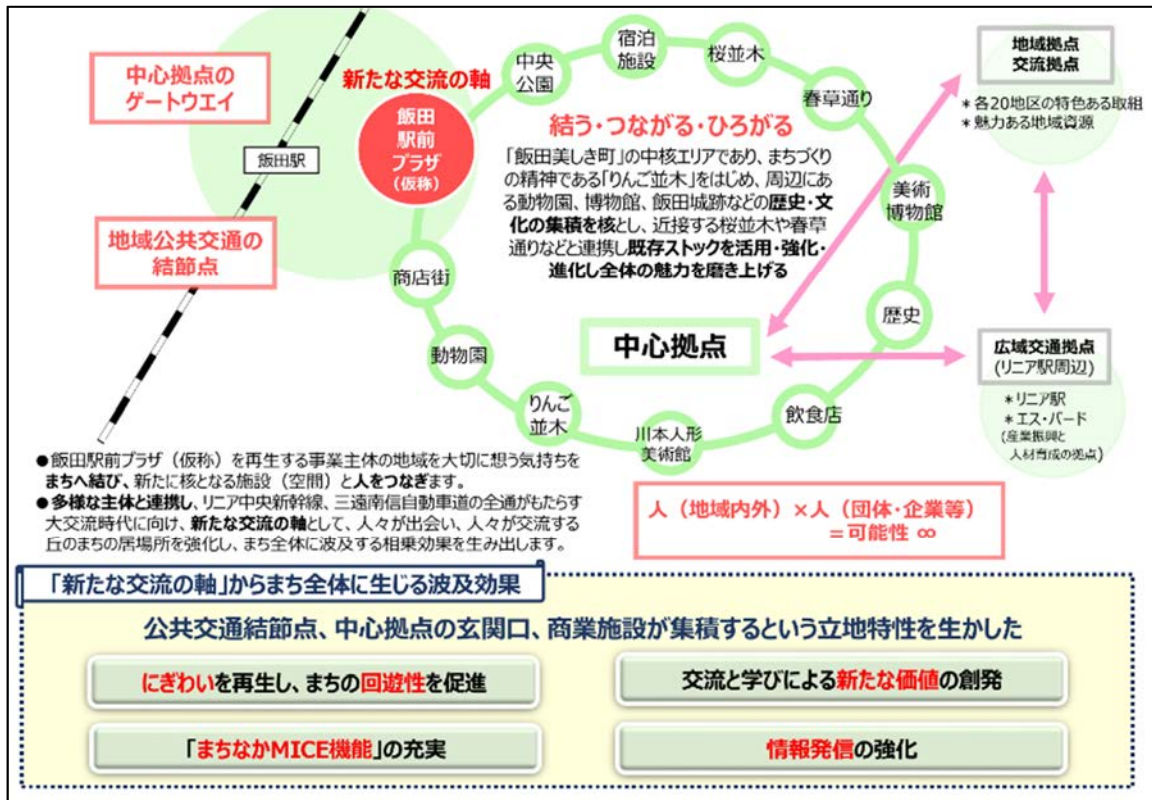


現状写真

(仮称)飯田駅前プラザ整備事業支援及び公共空間について

飯田市公民館の移転は、平成27年度から公共施設マネジメントにおいて優先的に検討してきましたが、「市民の安全を確保すること」「リニア開通後を見据えた必要最小限のコスト」という観点から検討した結果、①現在の建物をそのまま使いつづけることは耐震補強工事、維持管理費などに相当な費用がかかること、②中心市街地には、会議場、宿泊施設、飲食店、公共機関等の既存ストックによる「まちなかMICE」の形成が期待でき、いい大人形劇フェスタ、飯田丘のまちフェスティバルなど市民の文化活動が発信できるステージがあること、③JR飯田駅前には、JR、バスなどの公共交通で誰もが集まりやすい交通結節点であること、からホールを除く公民館機能を(仮称)飯田駅前プラザへ移転をすることとしました。

さらに、飯田市では、ムトスを合言葉に、愛する地域を想い、自分からできることをやってみようという自発的な意志や意欲、具体的な行動による様々なムトス飯田事業、若者をターゲットにした助成事業等、ムトスの精神を後世に伝えていく事業による地域づくりが行われてきています。(仮称)飯田駅前プラザは、ムトスの精神で取り組む活動を支援する拠点としても整備し運営するよう検討してきました。多様な主体の活動(やりたいこと)を支援できる公共空間(複合施設)を2階及び3階に設置します。



図：駅前エリアの位置づけと期待される波及効果

■ 公共空間の考え方

みつける
自分がいる場所

つながる
人とつながる場所

育てる・共感する
集まった人がワクワクする場所

実現する
新しい価値が生まれる場所

【コンセプト】 「ヒト」「モノ」「コト」が集まる創発の場

【考え方】 交流と共感が学びとなり、挑戦を生み、新たな価値を創発

【公共空間の整備方針】

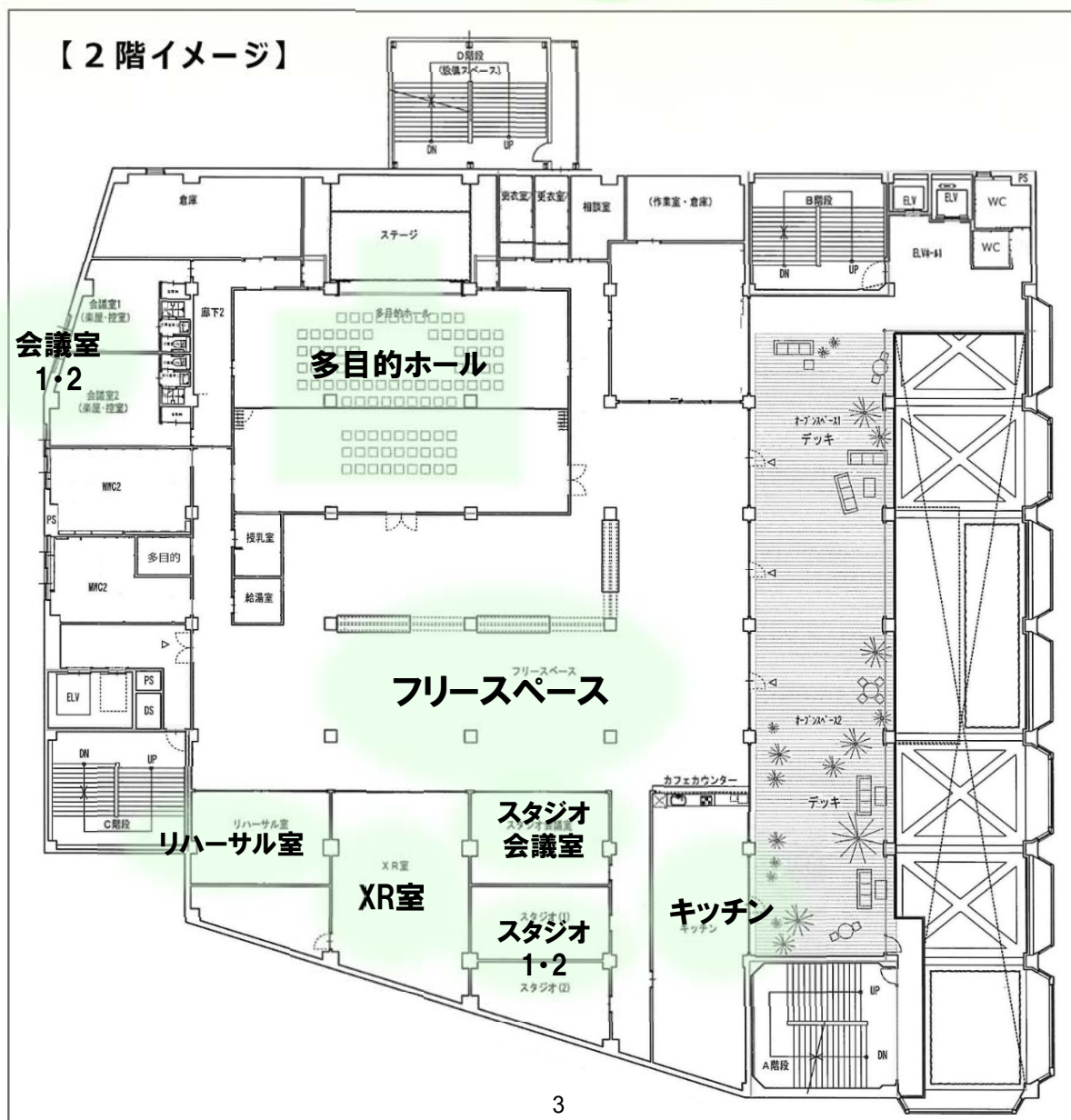
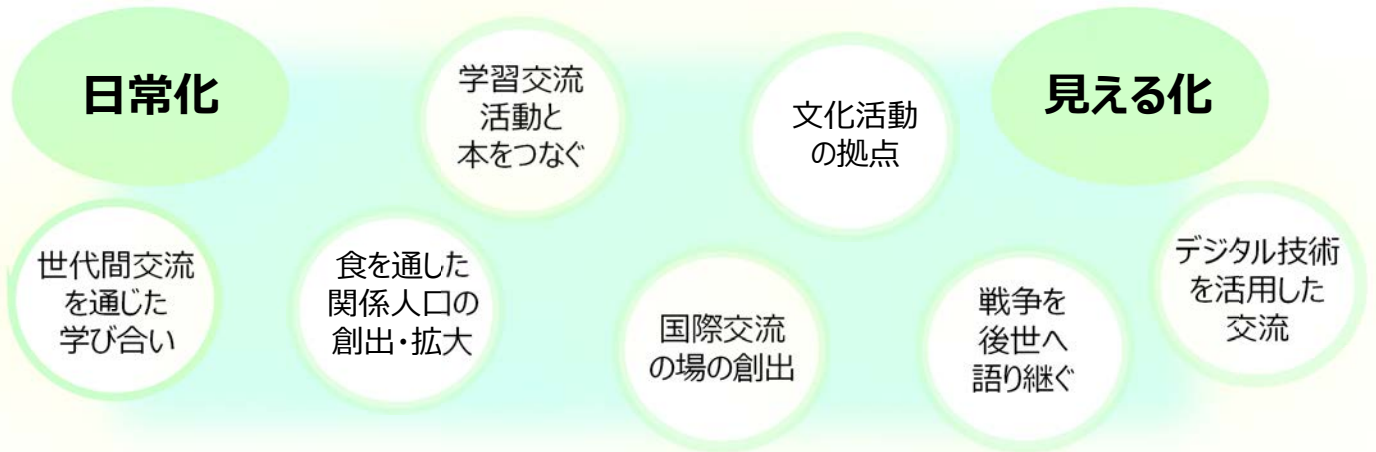
1. 飯田駅前の好立地を活かし、利便性がよく、多くの人々が利用したくなる施設
2. 飯田市公民館のほか必要な行政機能を複合化し、導入する各機能の相乗効果が期待できる施設
3. 本市の玄関口に新たな交流の軸としての魅力向上と、多様な人々がつながり、交流を実感できる施設
4. ムトスの精神を活かし、内外の人々の力や知見アイデアを結び、新しい価値の創造にチャレンジできる施設

■ (仮称)飯田駅前プラザに導入予定の機能

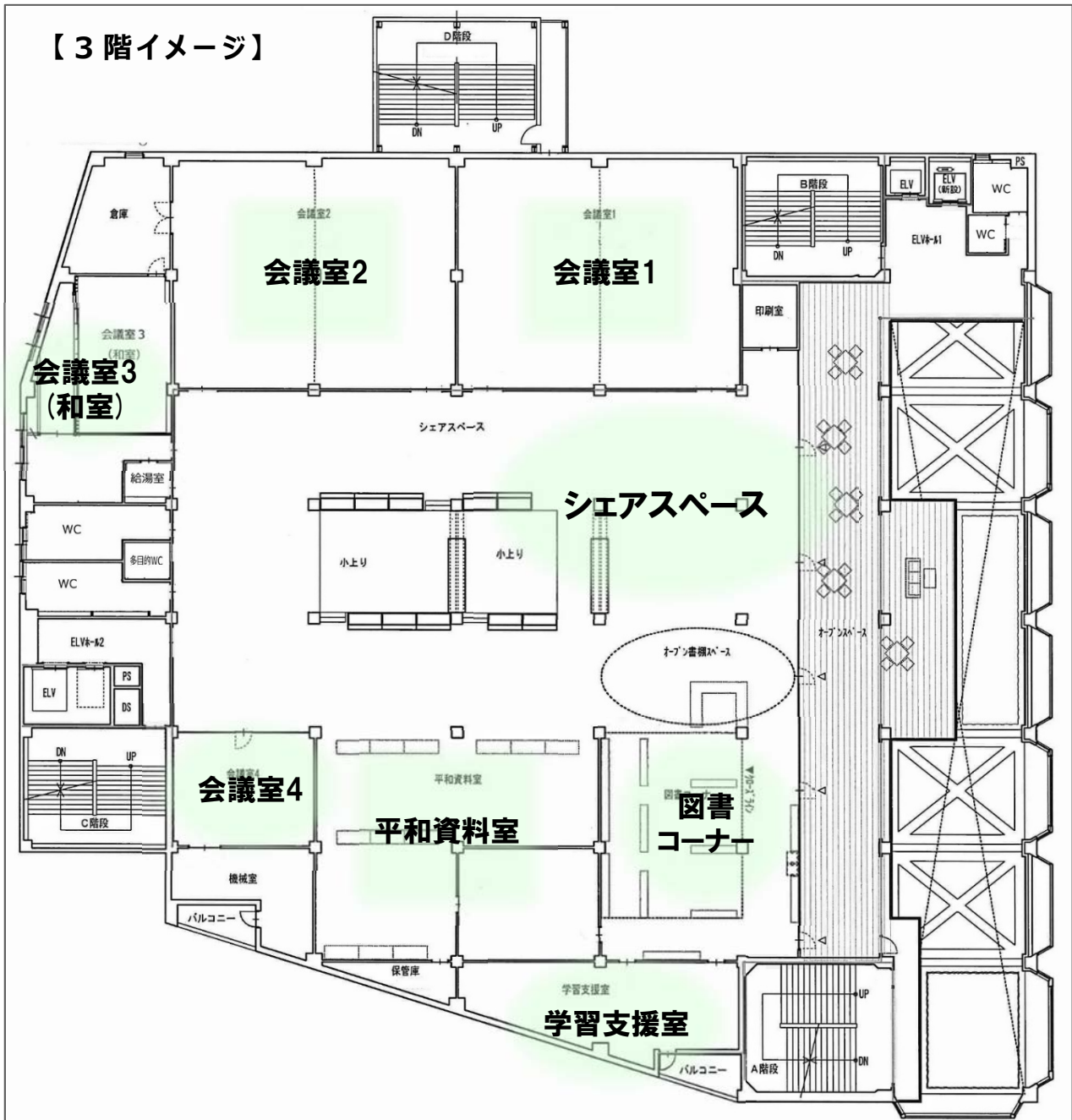
現時点で(仮称)飯田駅前プラザの2階3階の公共空間（創発エリア）に配置する機能として、飯田市公民館機能、図書館機能、平和学習機能、学習支援機能、次世代学習交流支援機能、多文化共生推進機能、内外の連携・交流推進機能等を想定しています。また、こうした多種多様な機能を活かし、若者をはじめ、性別、年齢、国籍を問わず市民の皆さんが取り組むムトスの理念に基づいた活動を支援するムトス飯田推進事業の機能を備えることも想定しています。

■ 導入予定の機能によって創発を生み出す仕掛けのイメージ

飯田市公民館をはじめとする複合的な機能が有機的に結びつくことで、次のような仕掛けを想定しています。具体的な活動については、昨年10月に立ち上げた市民ワーキング会議で、より具体的な使用用途等を検討していきます。



【3階イメージ】



■ 2階3階共通フロアイメージ 【公共フロア床面積 計4,178㎡】 2階 2,065㎡ 3階 2,113㎡

交通結節点、中心拠点のゲートウェイ、商業施設の集積の立地特性を生かし、誰もが利用しやすい空間を目指します。

1. 老若男女が気軽に立ち寄り、出会える。ひとりでもリラックスして過ごせる。
2. 高校生や大学生等の若者が、やりたいことや悩みを気軽に相談できる。
3. 駅前を起点に、歩き、巡りたくなるまちへ賑わいを広げる。
4. 中心拠点と20地区の地域拠点の連携、交流を促進する。
5. 外国人住民と共に「小さな世界都市」にふさわしい未来を創る。
6. 障がい等のマイノリティにかかわらず、表現活動や経済活動を実践できる。
7. 地域の未来を担う人材を育む。

※創発とは

広辞苑では、「生物進化の過程やシステムの発展過程において、先行する条件からは、予測や説明のできない新しい特性が生み出されること。」とされています。

公共フロアで行われる様々な学習や交流の活動が、お互いに関連・連携し合うことで、新しい価値や活動を生み出していく「創発」の場として機能していくことを期待しています。